



江別市議会議員

# 岡英彦 市政レポート



無所属

16年間ずっと、政党に所属せず活動しています。

## 外国人人口が初めて 1000 人に！

2024 年 3 月の議会の一般質問において、将来人口推計と歳入確保のための計画策定について質問しました。



岡「日本における外国人の割合は 2020 年現在、総人口の 2.2%となっているが、2050 年には 7%になると推計されている。労働力人口や地域の活力を維持するために、外国人の受け入れについて、積極的な姿勢を取っていく必要があるのではないか？」



後藤市長「江別市の外国人人口の推移は、2019 年の 611 人に対し、2024 年 2 月 1 日現在では 946 人となっており、この 5 年間で約 1.5 倍に増加している※<sup>1</sup>。

今後も外国人の増加を見込んでいることや、これから本格的な人口減少社会を迎える中で、労働力不足の深刻化が懸念されていることから、外国人材に頼る部分がさらに広がっていくと考えている。

昨年の日経グローバル紙による外国人の受入れに関する調査に対しては、外国人の受入れ方針の設問に対して、人手不足とは関係なく、外国人の受入れを進めたいと回答し、外国人を受け入れる上での課題については、自治体や民間支援団体での人材不足のほか、支援ノウハウが蓄積していないことと回答している※<sup>2</sup>。

今後、外国人に対する相談体制や支援体制の充実に努めるとともに、生活上の様々な課題の解決に向けて、関係団体と連携、協力するなどして取り組んでまいりたいと考えている」

※<sup>1</sup>：2024 年 4 月 1 日現在、江別市の外国人人口は 1,000 人で、初めて 1 千人台となりました。

※<sup>2</sup>：2024 年 2 月 5 日発行の日経グローバルで全国の自治体の外国人受け入れについて特集されています。





## 親子 3 人世帯の転入で市税 12 万円増加



岡「効果的な歳入増加策を考えるために、子育て世代の転入や企業誘致によって、どの程度の税収増加の効果があるのかを分析し、歳入増の目標と具体的な取り組みを策定していく必要があるのではないか？」



後藤市長・総務部長「市税収入は、コロナ禍や物価高騰の中でも、納税義務者数の増加や家屋の新增築により、年々増加している。

夫婦と子ども 1 人の 3 人世帯が転入した場合、年間約 12 万円程度の税収が見込まれる。また、100 m<sup>2</sup>の住宅 1 棟が新築されると年間約 10 万円、1,000 m<sup>2</sup>の物流倉庫で年間約 100 万円程度の税収が見込まれる。



社会環境の影響を大きく受けることから、将来の歳入の見込みを計画として策定することとはなじまないものと考えているが、自主財源の確保を図ることは非常に重要と考えており、企業誘致や転入等の歳入への影響について、全庁的に意識を高め、引き続き、実効性のある取組を推進してまいりたい」



## 市議会議員選挙の費用、平均 59 万円



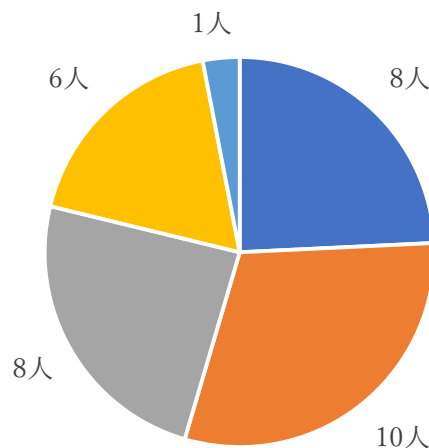
選挙の費用は収支報告書を提出することが義務付けられており、誰でも閲覧することが可能です。昨年の市議会議員選挙の 33 候補者の選挙費用をまとめました※。



平均額 59 万円  
最高額 233 万円  
最低額 0 円  
岡 18 万円



項目別平均費用※  
事務所 11 万円  
印刷費 14 万円  
広告費 20 万円



■ 10万円以下 ■ 10-50万円 ■ 50-100万円 ■ 100-200万円 ■ 200万円台



※ 金額は公費負担と人件費の無償提供を除いたもの。項目別平均費用は 0 円の候補者を除いたもの。

※ 『岡英彦のガバナンス江別+』の 2 月放送の動画で、選挙費用の詳細をお話しています。

